



「あつ、やつと起きたん提督? まったくお寝坊さんやねえ♪」
「なんじや? 体が動かかん? そりやそーじやな♪」
「うちが提督のお茶に薬を仕込んでいたんじやからなあ♪」

がはっ

「なんでそがいな事をするのかって? そりや、ご主人様の為に決まっとるじやろ♪」
「今のうちな、もう提督の艦娘だった浦風じゃないんよ、今はご主人様のメス奴隷艦娘じゃ♡」





ガキヤッ

「ご主人様、もう入って来てええよ♥提督、この人がうちのご主人様じゃ♥男前じゃろ♪」
「実は提督を動けなくしたのはうちのご主人様のお願いを聞いてもらいたいからなんじゃよ♪」
「この鎮守府の指揮権と全艦娘をご主人様に明け渡して欲しいんじゃ♪」
「うふふっ♪そらあ素直には聞いてくれんよねえ♪」
「そいじゃうちのご主人様にご褒美をもらって居る間に気が変わったらいつでも言っでええからね♪」

「ご主人様のご褒美おチンプポ頂戴♥」

「あつはあああああんっ♡♡ご主人様のおチンポ、ぶち大きい♡
入れただけなのに、うち軽くイッてもうた♡」
「このおチンポ入れた時の電流が走る感覚♡これメツチャ好きなんよ♡」

おほお♡

「あんっ♡おマンコのお肉も勝手におチンポに絡みついて…♡動いてないのにぱり気持ちいい♡」
「ええんよご主人様♡うちに気を使わんと好きなように動いて、うちにご主人様の精液頂戴♡」



「あんっ♡あんっ♡あっ…あっ♡やんっ、激しい♡ご主人様、ぱりかつこええよ♡あっ…ああんっ♡」
「ゴリゴリっっておマンコを激しく犯して♡うちもぶち気持ちええよ♡」
「うふふっ♪でい…と…く…う…ちのおっぱいはっかり見てどうしたん？
ココもスポン越しにわかるくらい勃起して♪」

あんっ♡

あっ♡

びんびん

びん

たぶ

たぶ

「ご主人様に突かれるたびに暴れるうちののおっぱいに興奮したん？ふふっ、提督はスケベじゃねえよ」
「ええんよ、うちももうイキそうじゃし、ご主人様に犯されて絶頂するうちをいっぱい見て♡」

「あっ♡イクツッ!イクイクっ!イツグウウウウウウウウウウウツ♡♡♡」
「はあっ...はあっ...♡ご主人様のピストン、ぶち凄かあ...♡」
「うち...ご主人様の射精まで耐えれんかったよ...♡」
「提督もどうじゃった?うちのだからしないアクメ♡」
「もし提督がご主人様の条件をのんでくれるならいつでも見せてあげてもええよ」

「うーん、それでもつまらんかあ...それなら、こいうゆうのはどうじゃっ」
「提督がご主人様の条件をのんでくれるなら、うちのおマンコ使ってもええよ♡」



「うふふっ♪そんな強がり言ってもココはうちのセックスを見てピクピク反応してるけえ♪」
「まっ、うちのおマンコがいらんなら別にええけど♪…どうするん♪」
「次ご主人様がイッたらもううちらはこの部屋は出ていくから、もうおマンコは使えんし」

「うちも本気でご主人様をイカせにいくからがこれが最後のチャンスじゃよ♪」
「それまでによく考えるんじやね、で…いと…く♡」



「どうじゃ、提督♪これがご主人様に変えられた新しいうちの姿じゃ♡」
「この大きいおっぱいも、発情しきったメスマンコも
提督がみんなをご主人様に差し出すだけで使いたい放題なんじゃよ♡」
「うちのおマンコが壊れて提督のおチンポが折れてしまいうまで使いたい放題じゃ♡」

「ほらほら、早く答えんとまたご主人様にうちの体好き勝手にされてまうよ♡
他の男に取られて悔しくないん♪」

ピッ!

「んっはあああああんっ♡♡提督がグズグズしてるから
またご主人様のおチンポがうちのおマンコに入ってきたぁ♡」
「今うちのおマンコのお肉を絞めて、ご主人様のおチンポをギュツとしとるんじやよ♡」

あん♡

おほ♡

「男にご奉仕することしか考えてないメスマンコ、提督も味わいたいじやろっ」
「提督もうちのおマンコでぶち気持ちよくなりたいたいじやろっ」

「あつはああああああああああんっ♡♡♡♡」
「はあ…はあ…ご主人様のせーし…暖かあ…♡」
「それでどうじゃ提督、答えは変わらん？…うふふっ♪
これで今からこの鎮守府と提督の艦娘はご主人様のモノじゃね♡」
「えっ、約束のセックス??何に言いよるの♪うちが言ったのは
「おマンコやおっぱいを好きなだけ、オナニーのおかずに使って、ええよ♡」って話じゃ♪」

「まさかうちが提督とセックスするって思ったん?何を勘違いしちゃったんじゃろうなあ♪
バカな、でい…と…くっ♪」





















